

平成24年度 地震対策訓練の実施

三次河川国道事務所

- ▶ 南海トラフを震源とする大規模地震を想定した地震対策訓練を平成24年11月20日に実施。
- ▶ この訓練は、大規模地震による災害に対して迅速かつ確な災害対策業務を遂行し、被害の拡大・二次災害の防止及び円滑な復旧・復興に資するとともに、地域住民の安全、生命及び財産を保全することを目的としたもの。
- ▶ 訓練には三次河川国道事務所の全職員のほか建設会社などの総勢約100名が参加。

《訓練内容》

【第1部】

- (1) 職員及び家族の安否確認訓練、参集訓練
- (2) 庁舎点検訓練
- (3) 一般被害状況等の30分以内の報告訓練

【第2部】

- (1) 災害対策支部(三次支部)の設置訓練
- (2) 所管施設の点検及び被災状況等の把握・報告訓練
- (3) 応急復旧対策工法立案訓練
- (4) 情報連絡体制の確立訓練(Ku-SAT設置訓練)
- (5) 関係機関との各種協定に基づく情報共有及び支援体制の確立訓練(リエゾン派遣訓練)
- (6) 地震時の広報訓練
- (7) 設備(電気)停止への対応訓練



Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)設置訓練



三次支部長による
リエゾン(情報連絡員)派遣命令



三次ケーブルビジョン放映(11月20日)
「情報ストリートあっちこっち三次」



災害対策支部(三次支部)内の訓練状況

Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)

通信衛星を介して画像伝送を行う装置で、小型軽量で機動性に優れており、災害初動時に運用します。

(東日本大震災や庄原市の豪雨災害時でも活用しました。)

リエゾン(現地情報連絡員)

Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語。災害時の情報交換に関する協定に基づき、自治体に派遣される国土交通省の職員を指します。